

大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題

〔大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜・〕
〔大阪府立富田林中学校に係る入学者選抜〕

適 性 検 査 I

（国語的問題）

注 意

1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。

・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、
すべて**解答用紙**の記号を○で囲みなさい。また、答えを
訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

・答えの字数が指定されている問題は、**、**、**。**「**」**なども
一字に数えます。

解答用紙の「**採点**」の欄と「**採点者記入欄**」には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に**一**、B面に**二**、C面に**三**があります。

4 「開始」の合図で、まず、**解答用紙**に**受験番号**を書きなさい。

5 「**終了**」の合図で、すぐ**鉛筆**を置きなさい。

ア

イ

ウ

エ

【解答例】

A 面

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

A 面

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

1 本文中の——線部 a～c のカタカナを文脈に合わせて漢字に直し、解答欄の枠内に大きくていねいに書きなさい。

2 次のア～エの語を、国語辞典にのっている順に並べたとき、2 番目にくる語はどれですか。ア～エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 質問 イ 少々 ウ 実際 エ 識別

3 本文中の——線部①がさしている内容を、本文中から十一字でぬき出し、はじめの四字を書きなさい。

4 本文中の——線部②の理由について、筆者はどのように述べていますか。その内容についてまとめた次の文の **A** に入れるのに最も適している言葉を、本文中から十二字でぬき出しなさい。

お子さんが親御さんの言葉を **A** から。

5 次のア～エのうち、本文中で述べられている会話における言外の意味を説明したものとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 話し手が推測することによって聞き手の側に生じるものであり、あまりに慣習化された場合には聞き手の意図に気づきにくいものである。

イ 聞き手の側が話し手の意図を推測することで生じるものであり、同じ言葉でも状況によって意味や受け取り方が変わるものである。

ウ 話し手の意図を聞き手の側が推測することで生じるものであり、話し手の意図が正しく伝わるものがほとんどないものである。

エ 聞き手の意図を話し手の側が推測することで生じるものであり、単純な意味を伝えることがかえって難しくなるものである。

6 本文中の——線部③について、筆者は、アタナシオスが言外の意味を何のために使ったと述べていますか。本文中の言葉を使って、二十字以上、四十字以内で書きなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

1 本文中の——線部 a、b それぞれと、音読みと訓読みの組み合わせが同じものを、次のア～エから一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 自覚 イ 場所 ウ 野原 エ 仕事

2 次のア～エのうち、本文中の A、B に入れる言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア A いっぱう B なぜなら
イ A いっぱう B ところが
ウ A つまり B なぜなら
エ A つまり B ところが

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

3 本文中に——線部①とありますが、発光生物は光をつくりだすためにどのような化学反応を利用していますか。「化学反応」につながるように、本文中から八字でぬき出しなさい。

4 次の一文は本文中の「あ」「え」のいずれかに入ります。入る場所として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

5 本文中の——線部②について、筆者がどのように述べているのはなぜですか。本文中の言葉を使って、三十字以上、五十字以内で書きなさい。

6 次のア～オのうち、本文中で述べられている内容と合うものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

ア 光っている蛍光灯では、電気のエネルギーの10%くらいが光になり、残りのほとんどは熱になっている。
イ 光っている発光器をさわると熱く感じられるので、発光生物の光は人間のつくる光よりもエコな光だといえる。
ウ ルシフェリンとルシフェラーゼが体の中でくっついてべつの物質に変化することで、発光生物の光はつくりだされる。
エ 生物の発光に使われるルシフェリンとルシフェラーゼは、「光を生じるもの」という意味のことばから名づけられた。
オ 生物の発光のしくみの研究が進み、発光生物のごく一部しか発光に化学反応を利用していないことが解明された。

三 木村さんは、身近な食べ物の中で興味をもったものについて調べ、学級でスピーチをすることになりました。次の【発表原稿の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【発表原稿の下書き】

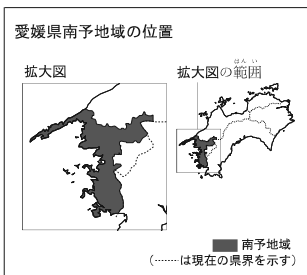
みなさんはみかんは好きですか。私はみかんが大好きです。私の祖父は【資料1】に示されている愛媛県の南予地域でみかん農家をしています。南予地域のみかんはとてもおいしく、ペリッと音をたてながら皮をむくと、さわやかな香り、口に入れた時にふわっと広がる甘味と酸味、ぶるんとした食感などが楽しめます。このことから、私は南予地域のみかんがなぜおいしいのかについて興味をもちました。みかんがおいしく育つ土地の条件についてインターネットで調べたところ、「土が適度に乾燥し、日当たりのよい、傾斜がある土地がみかん作りによいとされており、みかんの主要な産地においては傾斜がある土地にみかん畑が作られていることが多い。」ということが書かれていました。そこで、このことが南予地域のみかん畑にもあてはまるのか確認しようと考えました。

最初に、傾斜について調べてみました。【資料2】をみてください。一枚の絵のように美しい風景だと思いませんか。こちらは、南予地域のみかん畑の写真です。急な傾斜がある土地にみかん畑が作られていることがわかります。次に、【資料3】をみてください。こちらはみかんの主要な産地のみかん畑をその傾斜度によってわけた面積の割合を示した資料です。なお、傾斜度とは土地のかたむきの度合いを表していて、例えば、傾斜度が15度というのは、約四メートルで一メートル上昇する傾斜をさし、かたむきが急であることを意味しています。かなりの傾斜ですよね。【資料3】に示されているみかんの主要な産地においては、傾斜度が15度以上のみかん畑の面積の割合が少なくとも35%もあり、愛媛県では68%となっています。そして、愛媛県の

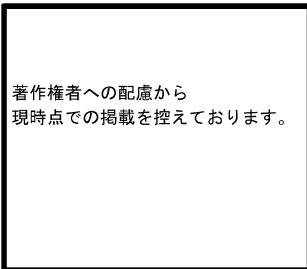
し、畑の場所の条件に合う品種のかんきつ類を植えるという努力をしているということでした。

これらのことから、(A)があることや、(B)がよいことや、土が適度に乾燥しているという土地の条件だけでなく、研究者や農家の人たちの協力による(C)などが、南予地域のみかん作りを支えていることがわかりました。これからも興味をもった身近な食べ物について調べてみたいと思います。

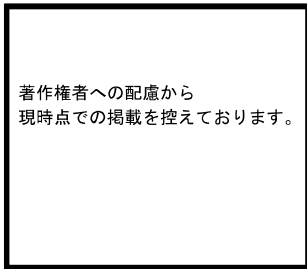
【資料1】



【資料2】



【資料4】



【資料1】、【資料2】、【資料3】、【資料4】のいずれも農林水産省の資料により作成

あ

中でも わかります。傾斜がある土地であるという条件は、南予地域のみかん畑にあてはまっていた。

次に、南予地域の日当たりについて調べてみました。【資料2】をみると、海沿いの山の頂上まで石がきが階段のように築かれており、一つ一つの段に畑があることがわかります。このような畑のことを段々畑といい、南予地域のみかんが育てられている段々畑には「三つの太陽」があるといわれています。それでは、「三つの太陽」とは何でしょうか。【資料4】を使って説明します。まず、「空の太陽」とありますが、こちらは太陽からの直射日光のことです。次に、「海の太陽」とありますが、こちらは海面で反射した光のことです。最後に、「石がきの太陽」とありますが、こちらは段々畑の石がきで反射した光と太陽に温められた石がきから放出される熱のことです。これらの「三つの太陽」があることが、みかんの木に当たる太陽の光の増加や地温の上昇による畑の土の乾燥につながり、みかんをおいしく育つということでした。土が適度に乾燥し日当たりのよい土地であることも、南予地域のみかん畑にあてはまっていた。

南予地域のみかんがなぜおいしいのか疑問をもち調べたことで、みかんのおいしさにはさまざまなことが関係していることを知りました。

ただ、ここまで調べる中で、新たな疑問がわいてきました。もう一度、【資料1】と【資料2】をみてください。先ほど、

【資料1】と【資料2】をみてください。先ほど、いいうことをお伝えしましたが、南予地域は海岸線が複雑に入り組んでおり、傾斜がある土地であったとしても、方位や土地の高さなどによって、日当たりなどの条件が変わることが考えられます。それにもかかわらず、南予地域のみかんがおいしいのはなぜなのかについて調べてみたところ、工夫の一つに品種開発があるということがわかりました。実際に、研究者や農家の人たちが協力して、約二〇〇種類の、みかんを含むかんきつ類を開発

1 次のア～オのうち、【発表原稿の下書き】中の木村さんの発表の工夫として誤っているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 音を表す言葉や様子を表す言葉を使っている。

イ 聞き手に対して質問を投げかけている。

ウ 人の主張と自分の主張を比較して述べている。

エ 順序を示す言葉を使って説明している。

オ 比喩を使って表現している。

2 【発表原稿の下書き】中の【あ】には【資料3】から読み取れる内容が入ります。【あ】に入る内容を、前後の内容から考えて、数値を用いて、二十字以上、四十字以内で書きなさい。ただし、数値を用いる際には、次のように書きなさい。

(例)	10	度	50	%
-----	----	---	----	---

3 木村さんは発表のリハーサル後に、友だちから【発表原稿の下書き】中の——線部①の意味が聞いたときにわかりづらかったという感想をもらいました。聞いたときにわかりやすくなるように、——線部①を、五字以内で書き直しなさい。

4 【発表原稿の下書き】中の——線部②の「みかんを」と「育つ」は適切に対応していません。「育つ」の部分適切な形に書き直しなさい。

5 【発表原稿の下書き】中の【い】に入れるのに最も適している言葉を、前後の内容から考えて、【発表原稿の下書き】中から十六字でぬき出し、はじめの八字を書きなさい。

6 【発表原稿の下書き】中の(A) (B) (C)に入れるのに最も適している言葉を、【発表原稿の下書き】中からそれぞれぬき出しなさい。ただし、(A)は二字、(B)は四字、(C)は四字でぬき出すこと。

